

平成 28 年度講演会

「地域包括システムにおける歯科の役割」

三重県鈴鹿保健所保健衛生室健康増進課
副参事兼課長 芝田 登美子先生



わが国は、先進諸国の中で人口の高齢化が最も早い速度で進み、最も早く超高齢化社会に到達したため、財政負担の在り方や医療提供体制などの社会保障システム全般を模範にできる国は無く、わが国独自で少子高齢化に向けた課題を検討し、望ましい制度やシステムを構築していく必要があります。

とりわけ、戦後のベビーブームに生まれたいわゆる団塊の世代の約 700 万人が後期高齢者(75 歳以上)に到達し、介護、医療費などの社会保障費が急増することが懸念される「2025 年問題」に対して、地域の実情を踏まえながら早急に取り組むことが求められています。

国は、2025 年を目途に、重度な介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築の実現を目指しています。

その中で、住民が生涯をとおして歯と口の機能を維持するため、地域包括ケアシステムにおいて地域の歯科保健医療資源が十分に機能し活用されるよう、地域ごとに歯科保健医療体制を整備するとともに、医療・介護関係者などと連携を図り、住民に対して効果的な歯科保健医療サービスの提供と歯科疾患予防、介護予防などの取り組みの充実を図っていく必要があります。

また、高齢期において健全な咀嚼機能を維持するためには、乳幼児期からのう蝕予防や顎顔面の成長発育に関する対応から始まり、各年代に対して歯科検診や歯科保健指導を受けることができる機会の確保など、歯科保健医療に関する適切な働きかけが切れ目なく提供できる仕組みを作っていくことも求められています。

本研修会では、地域包括システムにおける歯科保健医療体制の構築に向けた国の方針や三重県の取り組みについてお話しさせていただきます。

略歴

昭和 63 年 3 月 愛知学院大学歯学部歯学科卒業
昭和 63 年 4 月 愛知県名古屋市 坂井歯科勤務
平成元年 10 月 三重県四日市市 鈴木歯科勤務
平成 5 年 6 月 三重県四日市市 しばた歯科勤務
平成 16 年 7 月 三重県健康福祉部健康づくり課勤務

平成 20 年 2 月 博士（歯学）学位取得

平成 27 年 4 月 三重県鈴鹿保健所保健衛生室健康増進課勤務 現在に至る

日本公衆衛生学会認定専門家

日本口腔衛生学会認定医

「よく噛んで食べよう」 アプローチの仕方と 小児歯科とのかかわりについて

青森県 とき歯科 土岐志麻先生



現在、小児歯科医療は、むし歯の治療・予防から、口腔機能の獲得指導へと変化してきています。

咬むことができない、丸のみなど「食」の問題に、私たち小児歯科医はどのようにかかわっていけるのでしょうか？患児本人への口腔筋機能の訓練だけの問題ではなく、小さい頃から子どもたちの接している大人への指導が重要になってきます。保育園や養護学校で行っている指導内容から、診療室での指導までをお話しし、「食べる 飲む 話す」という口腔機能について、診断・指導ができる小児歯科医をどのように目指しているのかご報告させていただきます。

略歴

平成 6年 北海道医療大学歯学部卒業

平成 11年 北海道大学大学院歯学研究科歯学専攻博士課程修了（歯学博士）
北海道大学小児歯科学講座助手

平成 12年 青森市で開業（とき歯科）

日本小児歯科学会専門医指導医

日本小児歯科学会 理事

日本小児歯科学会地方会副会長 青森県代表幹事

全国小児歯科開業医会 副会長

日本大学歯学部兼任講師

昨年度の女医の会「小児歯科臨床分」